

http://www

Happy-Hamakan-News (HHN)

浜医看学発 第8巻 第2号

2021年 夏号

浜田医療センター附属看護学校

2021年度入学式・・・1P～2P

新任職員挨拶・・・4P

ナイチンゲール生誕祭 看護を語る・・・7P～8P

3年生(67期生)クラス紹介リレー・・・10P

教育主事挨拶・・・3P

学校職員紹介・食事の話・・・5P～6P

ナイチンゲール生誕祭(1～2年生)・・・9P



入学おめでとうございます！69期生（1年生）47名

独立行政法人国立病院機構
浜田医療センター附属看護学校
Tel.0855-28-7788

〒697-8512 島根県浜田市浅井町 777-12

mail : kanri-t@hamakan.nh.jp

—「資料請求」は公式 HP から—

https://hamada.hosp.go.jp/kango/index_00001.html

※その他ご不明な点などありましたら、お気軽にお問い合わせください。



スマホを
ご利用の方は
こちらから

発行責任者
編集責任者
編集

飯田博
花子紀子
隈部直子、畑中美保、
崎本美子、岡本諭、
山岡富美香、前田こずえ、
平田洋子、三家本八千代、
尾川ひとみ、岩成美樹、
岩本悦子、木屋佳奈恵、
金山和正



～2021年度(69期生)入学式～

入学式式辞

第69期生、47名の皆さん、ご入学おめでとうございます。浜田医療センターの職員一同は皆さんのご入学を心から歓迎いたします。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、本日もご臨席をいただくことは叶いませんでしたが、これまで皆さんを支えてくれたご家族の皆様にもお祝いを申し上げます。

浜田医療センター附属看護学校は、生命尊重の理念に基づいて、看護職として人間に対する洞察力を養い、豊かな人間性を育む教育を行うことで、看護専門職として活動できる基本的能力の形成と専門職業人としての社会的責任を自覚し、生涯に渡り自己研鑽を行える能力と態度を育成することに、教職員と医療センターが一体となり、懸命に取り組んできました。昭和28年に国立浜田病院附属高等看護学院として黒川町に開設され、これまでに、2215名の卒業生を送り出してきた山陰でも伝統ある看護学校です。先輩の多くが、浜田医療センターはもとより、島根県を中心に看護師として活躍しており、皆さんにとっては心強い存在となっています。



学校長 飯田 博

さて、今日の医療を取り巻く環境は厳しいものがあります。社会では高齢化の進展とそれによる疾病の多様化に対応できなくなってきました。見守る家族の減少、家族や隣人の中での絆の脆弱化による、医療や介護の後退が見られます。個人や家族の努力だけでは、どうにも対処できない環境になってきています。

2025年以降は、今までの少子高齢化社会に加えて、多くの人達が亡くなる多死社会に突入していきます。さらに2040年には、人口減少が著名になり、国を維持していくための個人の生産性が問われ、新しい産業の展開が強く期待されています。今後20年くらいの間に、医療は大きく変わると推測されています。

日進月歩の勢いで高齢化する医学・科学を背景に、看護の現場においては、高い専門性と豊かな教養が、必要であり、病院や施設だけでなく、地域の人々の健康と生活を支えることが出来る看護専門職としての役割と力量が一段と求められています。

本日入学された皆さんには、柔軟に時代のニーズに応えることができる、看護に携わる者としての心構え、そして必要な知識や技術を、3年間でしっかりと修得していただきたいと思います。それは決して容易なことではありません。時に壁にぶつかり、あるいは挫けそうになることも多々あるかと思いますが、本日この日の初心に立ち還ることで、必ず乗り越えられるものと信じております。皆さんがあらゆる可能性に果敢に挑戦し、それぞれの人生の目標に近づくために努力し続けていく姿を応援しています。

最後に、看護師として備えるべき資質について、「看護」を職業として確立させた、かのナイチンゲールはこう述べています。

どのような訓練を受けたとしても、感じることに、自分でものを考えること、この二つが会得できなければ訓練自体が無用となってしまいます、というのです。つまり、看護師は患者をまずもって観察し、その事実を自分で分析して判断することが大切であると説いています。決して教科書の知識だけを習得するだけではありません。何を観察し、どのように考えるかを、学生生活で学んでください。そして、医療人としてまた人間として磨きをかけ、さらに成長されることを期待しています。

本校での3年間の時間が有意義に、そして本校での学生生活が、人生において掛け替えのないものになることを願い、式辞といたします。

令和3年4月9日

国立病院機構浜田医療センター附属看護学校 学校長 飯田 博

新入生 誓いの言葉

心地よい春風が吹くこの良き日に、私たち 69 期生 47 名は浜田医療センター附属看護学校に入学します。先ほどは学校長先生、先輩方から温かいお言葉をいただき、誠にありがとうございます。看護師になるための第一歩として、本日、入学式を迎えることができましたことを新入生一同大変うれしく思います。

これから看護を学ばせていただく過程には多くの出会いが待っています。療養生活中の患者様にも初めて身近に接します。患者様は様々な不安を感じておられます。そのような患者様に前向きに生活していただくために、看護師は心身共に支えになることが必要です。私は、患者様一人ひとりに丁寧に向き合い、支えることのできる看護師を目指したいと思っています。そのために、実際の医療現場を近くに感じることのできるこの学校で、看護師として必要な知識や技術を学び、共に学ぶ仲間との日々の触れ合いを通して、他者を思いやり、理解する能力を培っていききたいと思います。

これから看護を学んでいく中で多くの困難にぶつかると思います。そのような時は周りの仲間と一緒に乗り越え、一日一日を大切に生活していきたいと思います。私たち新入生一同、共に助け合い、励まし合い、浜田医療センター附属看護学校の名に恥じぬよう、学生の本分を全うすることを決意し、誓いの言葉といたします。病院職員の皆様、先生方、先輩方には、温かいご指導を心よりお願い申し上げます。

令和 3 年 4 月 9 日

新入生代表 69 期生 吉田 ほのか



～教育主事挨拶～

今しかできないこと

今だからできること

はじめての経験だからこそ成長できる！



教育主事
花子 紀子

この度、岡山医療センター附属岡山看護助産学校から、高下教育主事の
後任として着任いたしました。どうぞよろしくお願い申し上げます。

本校には、平成20年4月から平成27年3月まで7年間教員として勤務
しましたので2回目となります。当時は、新築移転、平成21年度から施行
される第4次カリキュラム改正のためカリキュラム申請を行いました。あれから12年が経過し、今ま
た、令和4年度から施行される第5次カリキュラム改正を迎えています。今回の改正は、地域包括ケア
システム構築に向けた医療体制を実現していくためのものです。多職種との連携、地域包括ケアシス
テムの構築（在宅看護論から地域在宅看護論へ）、臨床判断能力がキーワードです。母体である浜田医療セ
ンターの理念「医療を通じて『地域で生きる』を支援する」看護師を育てることに通じる改正内容である
と考えます。職員一同力を合わせて魅力あるカリキュラムを構築し、主体的に行動し地域医療に貢献で
きる人材を育成したいと思います。

令和3年度が始まり4か月が経過しました。学生をはじめ保護者、関係者の皆様の昨年度のご協力に
感謝申し上げます。本年度も昨年に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響下にあります。政府から
出された「新たな生活様式」を取り入れ、その時々々の感染状況（緊急事態宣言、蔓延防止措置等）を踏ま
えながら学校を運営してまいります。

第69期生47名の入学式は、保護者の皆様にはご出席いただくことができませんでしたが、病院職員
に参列いただき行いました。昨年、導入した遠隔授業のためのオンライン環境での授業等も軌道に乗せ
ることができ、先日の集中豪雨で交通機関がストップした際にもオンライン授業に切り替え行うことが
できました。あらゆる場面で活用できるため、今後はオンライン・オンデマンドの多様性を追求し、活用
方法を検討したいと考えています。これまでも遠隔授業については示されていましたが、導入できて
いませんでした。しかし、今この時だからこそ一気に導入できたのではないのでしょうか。

行事や教科外活動、自治会活動など、例年どおりに進めることができないものも多くあり、昨年は中止
せざるを得ないものもありました。今年は、行事や教科外活動、自治会活動などをとおして育成していく
力をつけられるように、「どうすればできるか」を考え、「いつもと同じ」に行えないのであれば、これま
での経験と知恵を寄せ合い新たな形を考えて実施しなければならないと考えています。これらの考える
機会は、我々教員や学生の成長の機会でもあります。新たなものを創り上げていく創造の年にしてい
きます。「今しかできないこと」「今だからできること」をする、はじめての経験の中で成長していきたいと
思います。

本校は、来年は創立70周年を迎えます。学生の皆様が充実した学校生活を送れるよう、歴史と伝統の
ある学校の名に恥じないよう教職員一同努力いたします。

本年度も引き続き学校運営にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

～新任職員挨拶～

この4月に浜田医療センター附属看護学校事務主任として赴任しました、松生理と申します。病院の庶務班長としても勤務しており、学生の皆さんにお目にかかるのは入学式などのイベントの時が多いかもしれませんが、よろしくお願ひします。生まれは熊本、育ちは広島です。病院の事務職員としては20年近くにわたり、岩国、東広島、呉、岡山、善通寺、下関と中四国を転々と異動してきました。山陰は今回が初めてで、看護学校職員としての勤務も初めてとなります。慣れないことも多いですが、新鮮な気持ちを持ちながら頑張りたいと思います。



事務主任
(浜田医療センター庶務班長)
松生理

今年度4月1日付で、岩国医療センター附属岩国看護学校から異動して参りました前田こずえと申します。どうぞよろしくお願ひいたします。前校では基礎看護学、成人看護学、在宅看護論などを担当していました。1クラス80名定員でしたが、本校は40名ですので、早く学生さんを覚えて、個性を活かせるように実習指導や演習などができることを楽しみにしています。



3年生 学科担当
前田 こずえ

今年度は3年生を担当させていただいております。臨地実習が授業時間の多くを占めます。昨年からのコロナ禍におきましても浜田医療センターをはじめ地域で実習を受け入れていただき、臨地で学習をさせていただけることはとても有難いことです。この学びを国家試験の学習につながるよう支援し、学生の皆さんと共に看護師国家試験全員合格を目指し、頑張っていきたいと考えています。一日も早く浜田の看護学校に慣れ、個々に応じた支援ができればと思っておりますので、今後ともご協力をご支援をよろしくお願ひいたします。

私は浜田市出身です。久ぶりの地元生活では、温泉めぐりをしたいと思っています。石見地方には、すべすべ美肌の弱アルカリ性単純温泉、しっとり・ぽかぽかが持続する塩化物泉、じんわり温まり癒し系の放射能泉など美の恵みがぎっしりです。他にも石見のいいところを再発見したいと思います。

この度7月1日より浜田医療センター附属看護学校で事務助手としてお世話になります、岩本悦子と申します。江津市出身で高等学校を卒業してすぐに県外に出て就職しましたが30歳前に地元に戻りました。その後結婚し、浜田に住んでから14年になります。高校生の頃は勉強するより早く就職したいと思っていましたが、今思うともっと勉強して何か資格を取っておけばよかったなあと少し後悔しています。私には看護学校の学生さんと歳の近い2人の娘がいますので、親のような気持ちで学生さんに接していけたらと思っています。どうぞよろしくお願ひ致します。



学校事務
岩本 悦子

～学校職員紹介～

ご入学・ご進級おめでとうございます。

新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策を行いながら、学生が安心して学習ができるよう環境を調整しております。今後ともご協力をよろしくお願い致します。

職員一同



学校長
(浜田医療センター病院長)
飯田 博



副学校長
(浜田医療センター副院長)
栗栖 泰郎



浜田医療センター看護部長
元林 千代子



事務長
(浜田医療センター事務部長)
平 和宏



教育主事
花子 紀子



事務主任
(浜田医療センター庶務班長)
松生 理



実習調整者
崎本 美子



学科調整者
平田 洋子



3年生 学科担当
前田 こずえ



3年生 実習担当
山岡 富美香



2年生 学科担当
岡本 諭



2年生 実習担当
畑中 美保





1年生 学科担当
隈部 直子



1年生 実習担当
尾川 ひとみ



専任実習指導教員
三家本 八千代



学校事務
岩成 美樹



学校事務
岩本 悦子



教務事務
木屋 佳奈恵



管理栄養士

木屋佳奈恵の
ちょっと気になる食事の話

Vol.1 夏バテ防止に効く食べ物！！
～これを食べて実習や講義を乗り越えよう～

暑い夏がやってきますね。本格的な暑さがやってくると、夜に寝苦しくなったり、食欲が低下したり、なんとなく怠いなど感じるなど「夏バテ」の症状が出てきます。今回は、そんな夏バテを防止するためにどういう食材を食べるといいかを紹介します。



・豚肉



豚肉には、糖質の代謝に関わり疲労回復につながる効果があるビタミンB1が多く含まれていて、おすすめの食材です。玉ねぎと一緒に食べると吸収率が上がるので、生姜焼きなどがおすすめです。

・大豆食品



納豆や豆腐、味噌などの大豆製品には疲労回復を促すビタミンB1のほか、体力低下を予防する良質なタンパク質が多く含まれており、夏バテ防止にぴったりです。消化に負担がかかりにくいので、胃に優しいのも特徴です。

・長芋



長芋やオクラなどのネバネバには、免疫力アップや疲労回復効果のほか、整腸作用もあります。特に、長芋をオススメする理由は、糖質を分解する酵素が含まれていて、滋養強壮効果があるからです。また、ミネラルが豊富でビタミンB群やビタミンCなどバランスよく栄養を備えてあるのも特徴です。

～ナイチンゲール生誕祭 看護を語る～

「入院経験をとおして、援助をするときに大切にしていること」

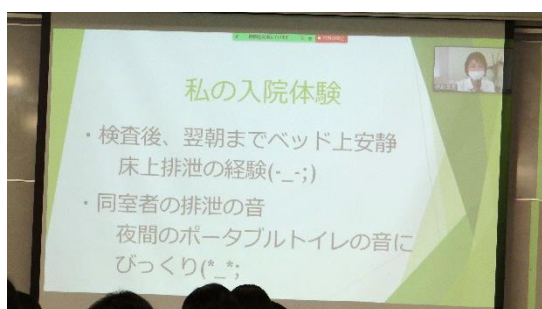
教員 前田こずえ

20代 のとき入院した経験があります。検査後から翌朝までベッド上安静となり、一晩のみ排泄の援助を受けました。何回排泄したのかは覚えていませんが、できる限り極限まで我慢して、我慢してナースコールをしたことと、おそらく最後の排泄であろう翌日の早朝に尿器を取り外すときに寝衣が濡れてしまったことを覚えています。看護師から、「もうすぐ安静解除になるからいいですよね」と言われました。何も言うことができませんでした。尿汚染した寝衣はだんだんと冷たくなります。さらに布団の隙間からの空気は尿汚臭がします。安静解除までとても不快を感じたことがありました。

この経験後、私は苦手な排泄の処理であっても、患者に不快感を与えないようにすることを心掛けています。患者や家族から「申し訳ないね」「こんなことまでさせて」と言われることがあります。肝疾患の方であれば、便が出ないと困ります、出てよかったですねと思い援助します。

ある日、家族の方から手紙が届きました。「母の入院中は大変お世話になりました。母の下の処理をしてもらうことに申し訳なく、気が気でなかった。そんな中、快くきれいにしてもらったことを忘れません。(抜粋)」患者や家族は私たちの予想以上に遠慮をしています。同時に私たちの援助をととてもよく見ています。私たちは見られています。

ナイチンゲールは、「看護はアートである」「看護は新しく生まれた芸術であり科学である」と明言しました。看護が芸術であるとは、看護師の手によって創られる芸術は、一回限り、一人ひとりに適したものであるという意味です。一回限りのそのひとにあった優れた技術を生み出すためには、その陰で何十回、何百回、何千回という基礎的な技術訓練が必要とされます。そして、看護は優れた科学でもあります。看護実践には必ず何らかの根拠が存在します。看護師の思いや感情だけでは仕事は成り立ちません。いつでも「なぜ?」「どうして?」を繰り返し問いかけ、より良い援助ができるように鍛錬したいものです。



「ナイチンゲール生誕祭で振り返った自分の看護」

教員 隈部 直子

看護教員として10年目になり、臨床で働いていた過去がずいぶん昔のように思える今日この頃です。この度自己の看護を語る機会をいただき大変感謝しています。15年近く前に出会いお別れした一人の女性患者との思い出を語りましたが、今でもその思い出が鮮明であるのは、その女性に一人の人間としての強い関心を持ち、患者—看護師の関係を越えた心のつながりがあったからかもしれません。それが良いことなのかはわかりませんが、今でも自分を支えてくれる大切な思い出になっています。私は看護を通して、人と出会い、互いに支え合いながら、人生の素晴らしさや生きることや死ぬことの意味を学んでいます。

看護教員として、学生に伝えたい内容を今回のナイチンゲール生誕祭で話す機会を得ました。私は、就職時、消化器内科病棟へ配属され、内視鏡的な治療・検査を受ける患者さんの看護を行っていました。その中で、ERCP（内視鏡的逆行性胆管膵管造影）を行った患者さんは帰室後2時間で採血を行い、合併症が起こっていないか確認することが必要でした。就職当初の私には必要性が分からないほど、知識が不足していました。

ある時、ERCP後の患者さんに急な腹痛・発熱という症状が出現しました。患者さんはとても強い苦痛を感じており、絶食となり、点滴治療が長期的に続いてしまいました。その状況を目の当たりにして、改めて検査について学習し、患者さんの身体の中で何が起きているのか、看護学生の1年次に習う解剖生理を理解し、治療のこと、治療によって体内のどのようなことが変化するのかを理解する重要性について感じることができました。

解剖生理学は、医療関係者として基本的で大切な知識となりますが、苦手意識の高い学習内容です。ですが、患者さんの状態をとらえた看護を行っていくために、基本的知識として持っていてほしいと強く感じています。



「助産師としての歩みを振り返ってみて」

専任実習指導教員 三家本 八千代

今回、学生の皆さんに助産師という職業について、私の経験をもとにお話をさせていただきました。改めて、自分の道のを振り返ってみる機会となり、このような機会をくださったことに感謝します。

私は、最初から助産師を目指していたわけではなく、幼少期から看護学生時代までの沢山の人達との出会いや経験から、導かれるかのように助産師になったように感じます。また、自分の助産師としてどうありたいかという考えのもとになっているのは、看護学生3年間で出会った受け持ち患者さんや教員から学んだことです。3年間の体験がとても影響しています。

助産師学生時代に分娩を担当させて頂いたお母さんとは、年賀状のやり取りくらいですが、25年くらいの交流をさせて頂いています。あの時に生まれた赤ちゃんも25歳になります。今でも、生まれた時の場面が甦ってきます。あっという間の25年です。自分の子どもも成人し、保護者様もあっという間の18年～21年だったと思います。産まれること、生きること、人生の最後を迎えること・・・など様々なことを考えさせられます。

また、今まで担当したお産の記録ノートを読み返してみると、約200例のお母さんと赤ちゃんが無事にお産を終えることができ本当によかったと思っています。出産は、家族にとって新たな生活のスタートです。今は、少子化やコロナウイルスの影響で、お母さん同士の交流も少なく、不安や悩みを持っているお母さん方が増えています。短い入院期間の中で、少しでも安心して育児ができるように学生とともに支援していきたいです。

～ナイチンゲール生誕祭 “看護を語る”を聴いて～

1年生 藤井 えみ

先生方の看護に対する思いを聞いて私は、看護は面白く、難しく、やりがいのある仕事だと感じました。入学してまだ間もなく、実習もあまり行っていませんが、小さいころから看護師を目指してきた私は、今までの職場体験や看護体験などを通じて、看護師の仕事内容をある程度理解していたつもりでした。それでも、行かせていただいた施設や病院で見る吸引や患者さんの清潔のお手伝いなどを見ると正直やりたくないという思いがありました。この思いは、看護学校を入学した後も薄れるだけで完全に消えることはありませんでした。しかし、今回の講義を聞いて、吸引や清潔のお手伝いに対する思いが変わりました。どれだけ患者さんにとって、体を清潔に保つことが大切なのかが分かり、さらに清潔に保つことによって、精神的な面でも安心していただけると分かりました。これらの看護行為を行うことで、看護師はやりがいを感じるのだと考えました。さらに看護は、同じ病気を患っていても、患者さん一人一人が病気の進行だったり回復の速さだったり違うので、同じ治療をただ行えばいいというわけではないと学びました。すべてがマニュアル通りに行くわけではないので、そこが看護の難しい所だと感じました。それと同時に、沢山の経験、知識が必要であると分かりました。

2年生 板垣 珠梨奈

今回ナイチンゲール生誕祭を通して、4人の先生方の話を聞き、看護に対する考え方や患者さんに関わる際に心がけることなどについて考えることができました。

そんな中で、4人の先生方の話に共通していたと思った点がありました。それは、どの先生方も患者さんのことを第一に考え、「自分が患者だったらどう思うのだろう」と考えて看護をしておられたことです。そして、その大切な思いを今でもしっかりと持っておられたので、一つひとつ言葉がとても心に響きました。私も何年たってもこの気持ちを忘れてしまわないようにしたいと強く思いました。

また、それぞれの先生方の話を聞く中で、自分自身も患者さんとの関わりの中で学んだことがあるなと思いました。それは1年生の時の基礎看護学実習で患者さんが羞恥心を伴う援助を行う際には配慮が必要であると感じたにもかかわらず、実際に援助する際、見学時に使用した物品のみ用意し、バスタオルを忘れてしまい羞恥心への配慮ができませんでした。看護の世界では必ずしも正解は一つではない、それぞれの患者さんに応じた看護が必要であることを学びました。

2年生になり、7月には基礎看護学実習Ⅱがあるので患者さんとの関わりの中で今回学んだことに加え、新たな発見ができたらいいなと思います。



～3年生(67期生)クラス紹介ルー～

皆さんこんにちは。67期生の松本伸です!!3年生は女子33名、男子4名の計37名。とても元気なクラスです。元気すぎて周りに迷惑をかけているのではないかと心配になるくらいエネルギーで活気に満ち溢れています。そのお陰もあって、休まずに学校に行くことができます。先生方と同級生にホントに感謝しています。現在私たちは領域別実習を行い、看護について学習しています。これまでとは比べ物にならないぐらいの忙しい日々を送っていますが、体力には自信のあるクラスなので、体調を崩すことなく健康な状態で学校生活を送っています。

今年のクラス目標は「看護師国家試験全員合格。やればできる!!」です。国家試験合格に向けて勉強を強化しなければなりません。これから心が押しつぶされそうになることがあるかもしれませんが、互いに支えあいながら、全員笑顔で卒業できるように頑張ります。河野君、よろしく!!

はい!!!河野颯斗です。3年生のクラスはみんな仲良く元気で、実習と国家試験に向けて日々頑張っています。一人ひとり個性があり、誰もが面白く、学校生活はとても充実しています。コロナ禍であっても、充実した学校生活を送れるように工夫してくれた先生方には感謝しています。時々実習で疲れ果てたような顔をして学校に通うこともありますが、病棟では笑顔で患者さんと接し、不安な気持ちにならないように頑張っています。これからは就職活動も始まり、どんどん忙しくなっていきます。ですが、支えてくださる先生方とクラス全員で実習や就職活動、国家試験を乗り越え、来春には素敵な笑顔を見せられるように、一致団結して頑張っていきます。

この学年と過ごすのも残り一年を切りました。大変なことがあっても、いい思い出が増やしていけるように、体調を管理し、地道に頑張っていこうね!!盆子原君!!

押忍!!盆子原潤です。現在、領域別実習にて、受け持たせていただいている患者さんと向き合い、毎日の実習記録に悪戦苦闘しながら励んでいます。看護師から指導を受けたり、患者さんから断られることもあり、うまくいかず、思わず涙することもあります。そんな中でも、看護師に褒められたり、患者さんに「ありがとう」という言葉をかけていただくと、少しばかり自信になり、やりがいを感じます。新型コロナウイルスが流行している中で、病棟での実習を受け入れていただいていることに感謝し、残りの実習に励み、国家試験に向けて取り組んでいきたいです。私たち67期生は実習を休むことがほとんどなく、根気強い学年です。このしぶとい忍耐力を強みに、看護師国家試験全員合格を目指し、努力していきます!!



WEB版 学校説明会(再配信)

今年度もWEB版 学校説明会を7月22日に行いました。夏中に3回再配信を行います。当校の魅力や具体的な受験方法などお伝えし、一人でも多くの方に当校を進路先の一つとして考えていただきたいと願っています。また、保護者様からの具体的なご相談にも対応できますように看護教員を配置しておりますので、お気軽にご相談いただければと思います。

お申込みは、各日2日前17時までです。

ホームページからお受けいたします。

参加をお待ちしております

日時

令和3年7月30日(金)・8月3日(火)・8月17日(火)

10:00~12:00 予定 参加状況により終了時間を変更することもあります。

学校説明会での主な内容

1. 浜田医療センター附属看護学校に関する全体説明
2. 学科に関する説明、学内演習紹介
3. 実習に関する説明
4. 実習先の母体病院の紹介
5. 学校生活に関する説明 他



出願期間・試験日・合格発表日・入学手続締切

	特別推薦入試(指定校制)	一般推薦・社会人入試	一般入試
出願期間	2021年9月17日(金) ~ 2021年9月24日(金) 必着	2021年10月18日(月) ~ 2021年10月26日(火) 必着	2021年12月14日(火) ~ 2022年1月11日(火) 必着
	受付時間: 8:30~17:00(土日祝日・年末年始は除く)		
試験日	<u>2021年10月6日(水)</u>	<u>2021年11月10日(水)</u>	<u>2022年1月20日(木)</u>
合格発表	<u>2021年10月13日(水)</u>	<u>2021年11月25日(木)</u>	<u>2022年2月10日(木)</u>
入学手続締切	<u>2021年11月4日(木)</u>	<u>2021年12月9日(木)</u>	<u>2022年2月18日(金)</u>

※一般推薦・社会人入試選考にもれた場合は、一般入学試験を受けることができます。